

さんぽみち



連絡先
鶴の木特別出張所
☎ 3750-4241

発行 わがまち大田鶴の木地区推進委員会

分ければ資源

捨てればゴミ

四十代 主婦
半透明の袋になった事は、大変よいと思いますが、容器で出す方が非常に少なくなったと思う。

五十代 主婦
容器で出しているが集めに来る時間がまちまちなので、容器の回収に困っている。

五十代 主婦
容器がヒビ割れやすいので、取り扱いには注意してほしい。

六十代 主婦
スーパーなどで出しているレジ袋は、いつ迄使用出来るのかしらうらしい。

七十代 主婦
黒のビニール袋が沢山残っている。炭カルと交換してくれるとうれしい。

二十代の声
東京都推奨のゴミ袋になって感想はいかがと聞いて見た「良いと思えますよ」

六十代 主婦
家族が少なくなったので一袋にまとめて出すと一週間に一度位で済むので良い。



フタ付の容器で出すのが原則です。袋で出す方は、東京都推奨のごみ袋で出してください。(当面スーパー、商店等のレジ袋に限り、例外的に使用できます。)
なお、黒のビニール袋と東京都推奨のごみ袋との交換は、行なっておりません。
關布清掃事務所より

知ってるかな? このマーク



バックマーク
全国牛乳パックの再利用を考える連絡会が、回収パックの利用製品の普及開発のために認定したものの。



Eコマーク
環境を汚さない、環境を改善できる環境保全型商品に付いています



グリーンマーク
古紙を再利用した雑誌の商品に付いています。一定数のマークを集めると、苗木と交換できます。

わがまちのゴミ事情

三十代 主婦

ゴミの問題が大変深刻になってきたので、ゴミを捨てる前に、正確に燃える物と、不燃物とを分別して出したい。

四十代 主婦

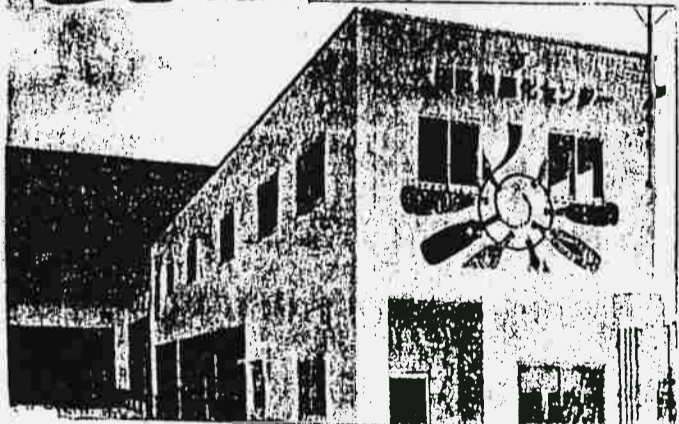
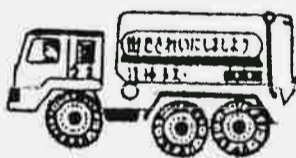
捨てればゴミだが、リサイクルすれば、地球環境に優しいし、ゴミの量は減っていくのでは、ないでしょうか?

庭木の肥料に生ゴミを提供して下さる方がいらっしやれば喜んでいただきます。

お問合せ 渡辺ふじ子

南久が原二丁目二七番一五号
電話 (三七五〇) 七二一九

大田区資源化センターオープン
機能充実! あき缶とガラスびんの、最新リサイクルシステム。



〒143 東京都大田区京浜島3丁目5番7号
TEL・FAX 03-3799-2215

このセンターは、大田区が実施している分別回収を中心として集められたびん・缶の中間処理施設です。
センターでの作業内容としては、回収された缶を磁選別機により、アルミ缶とスチール缶に分けてプレス・保管します。また、びんについては、生きびん(ビールびんや一升びんなど)を抜取ったあと、雑びんを色別に破砕機にかけ、カレットとして保管します。
このセンターで処理されたびん・缶は、再資源としてそれぞれメーカーに持ち込まれます。
このような本格的なびん・缶の中間処理施設は、東京23区では初めてのものです。

この「さんぽみち」は 再生紙を使用しています

わがまち有名人

春と夏の健康

千鳥二丁目 医師 三浦 隆

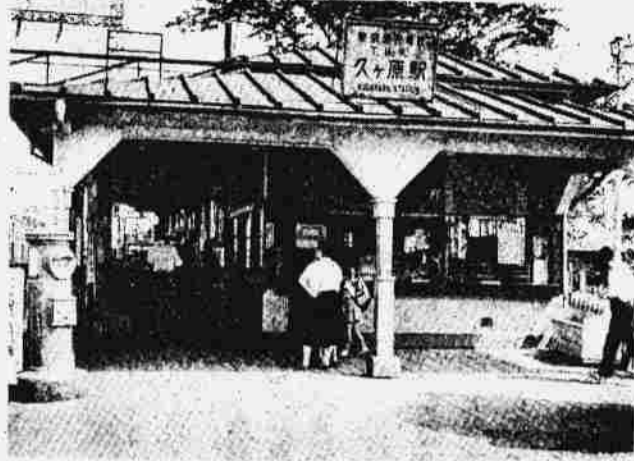
季節の変わり目は天候が変わりやすいので気温の変化に応じて、脱いだり着たりをまめにする。春先の気温の変化は、脳卒中、心筋梗塞、狭心症などの発作にも安心できません。強い春風は埃が多く扁桃炎や気管支炎、気管支喘息を起こし易いので、うがいや励行し、花粉症（アレルギー性鼻炎、結膜炎）には洗眼も大切です。また自律神経のバランスが崩れ心も体も不安定となりやすくなりますので、時には充分休養をとります。心も積極的に鍛えて下さい。

夏は食中毒や消化器病に注意し、食物はすぐに調理して、冷蔵庫を過信しないこと。夏かぜは過労や寝冷え、冷房の強さに留意し乍ら炎天下では帽子を被り、汗をかいたら水分、塩分を補い、日射病に気を付ける事。夏バテは、胃腸が弱り冷たい物や甘い物は控え食べ過ぎや飲み過ぎに気をつけ腹部を冷やさず消化不良の原因を作らないことです。

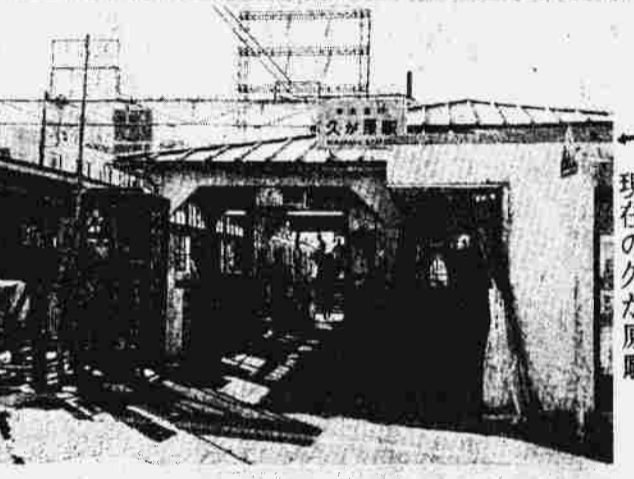
万物生成発育の、この季節は、以上のことに注意しながら、身も心も積極的に鍛えて下さい。

今昔 うつりかわり

大森七中所在地に戦前は慈恵医大予科校があり当時久が原駅周辺は医師をめざす学生で大変賑やかであつたようです。池上線久が原駅始発終電時刻をお届け致します。



昭和38年当時の久が原駅



現在の久が原駅

蒲田駅行始発 五時三分
 " 終電 二十四時十五分
 五反田駅行始発五時二十二分
 " 終電二十四時七分
 (池田進太郎)

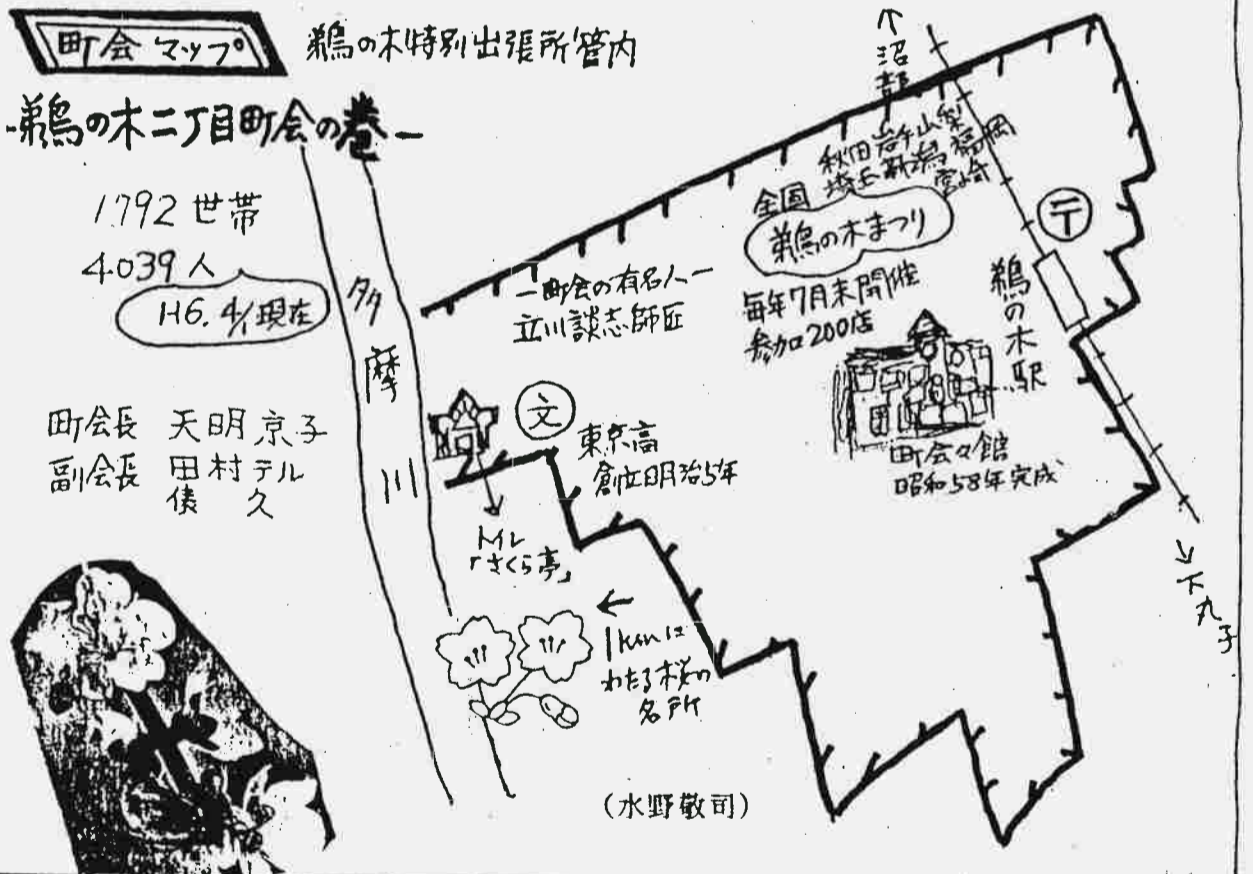
リレーエッセイ

最近の千鳥北町会祭礼

当会の祭礼は、御嶽神社の祭礼開催日に関係なく、隔年の八月最終の土日に挙行され、子供達が楽しめるように運営されてきた。しかし最近是我々がどんな企画を立案しても子供達は興味を示さず消極的だ。一方ご年配の方々は積極的だ。盆踊りには数多く参加

千鳥二丁目 川上智由

し、元氣印である。遊び心と文化の差が開き過ぎたようだ。とは書つても十六年前、千鳥会の我々が手塩にかけて作成した重さ四百四十キロの手作り神輿を持て余し、本年は大御輿渡御を見送りにしたことだ。時代は変化している。次回は千鳥二丁目の 徳永徳治さんです。



俳句

顔よせて薔薇見し人の白き杖

蕾にも香りのありて寒紅梅

野苺を摘めば幼き日の匂い 岩本宝造

短歌

かたまりて時雨の中にサルビアの濃きくれないは冷たく燃ゆる
 ゴミとして捨てる物にも再利用
 考えて見ぬ子らをまじえて 板倉正子

編集後記

ゴミ問題の特集号をお届けします。今日ゴミのために何をしましたか、我が町一人ひとりがゴミの減量に努めましょう。調布清掃事務所管内で去る三月十六日清掃指導協力員制度が発足しました。皆さんの近くの指導協力員が気軽にゴミのご相談をお受け致しますぜひご利用下さい。(池田進太郎)

千鳥の木特別出張所管内		
人	男	10,760
	女	10,881
世帯数		9,968
6月1日現在		